

福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

令和4年4月19日(毎週火曜日) 増刊 AJU通巻14501号

昭和54年8月1日低料第三種郵便物承認

発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

AJU自立の家

第176号

2022年4月20日号

定価250円

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
わだちコンピュータハウス
連絡先/〒466-0025
名古屋市中区下横町1-3-3
わだちコンピュータハウス内
TEL.(052)841-9888
FAX.(052)841-3788
E-mail: f-joho@aju-cil.com

テーマ

越えへい

書 山田 愛



はじめの一步をふみだしたあなたへ

- さよなら情報誌座談会
福祉情報誌のこれまでとこれから…… 1
- 体験レポート
プロバカ日誌 2021
ーさよならプロバカーー
でもまだ続きます！ …… 9
- あした天気になあれ…… 15
- かつきのページ …… 17
- 旅の空から…… 18
- トラベル情報 …… 21
グリーン車で行くお値打ち旅
金沢1泊2日
今だからこそ、の国内へ
- 福祉用具のリサイクル情報…… 23
- 読者のこえ・いろいろ情報 …… 24
聴覚障害者でも
110番と119番が呼べるアプリの紹介

他

座談会

福祉情報誌の これまでとこれから

この福祉情報誌も、今号でとうとう最終号を迎えることになりました。足かけ 30 年。これまで、読者の皆さま、取材に協力して下さった皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。

去る 3 月 5 日、福祉情報誌が始まったときから今日までの編集委員で Zoom 座談会を開き、福祉情報誌の 30 年を振り返ってみました。



池山ひろみ
二分背髄、透析
簡易電動車いす



鬼頭 義徳
頸随損傷
簡易電動車いす



井上さつき
脳性まひ
電動車いす



森 素中真
脳性まひ
手動車いす



小島 万智
脳性まひ
電動車いす

渡部 正幸
脳性まひ
電動車いす



田原美智子

山田 愛
脳性まひ
簡易電動車いす



高橋 幸子
脳性まひ
簡易電動車いす



高橋 誠
難聴＋脳性まひ
簡易電動車いす



水谷 真

大島千恵美
透析



福祉情報誌のはじまり

司会: 福祉情報誌は 1993 年 3 月に創刊。創刊準備号が前年の 11 月に発行されたようです。創刊に至った背景は？

鬼頭: 当時、福祉情報は AJU 自立の家(以下、AJU)に集まっていたんですが、「みんなは知っているのかな」という問題意識があり、チラシにして配ったらどうかという話がありました。スマホもインターネットもない時代、自分たちの持っている有用な情報を、みんなに知らせようということかな。

さつき: 私は障害を持っていますが、楽しいあんなこと、こんなことができるということを伝えていきたいと思いました。

鬼頭: 障害のある人にとっては、「はじめの一步」というのが大事だね。当初のテーマだったし、当時の先輩当事者たちの思いでした。

私にとっての情報誌

ま〜くん: 当初は、情報誌をこっそり立ち読みしていました(笑)。

「突撃レポート」が印象に残っています。特に

京都の舞妓体験の記事が印象的だな。それを読んで、自分でも書けるかなと思った。こういうことがあるんだと気づかされました。記事を書くのは時間との闘いでした。プロバカの遠征では、よくご飯を食べずに帰ってきたなー。

「いろいろ情報」も担当しましたが、情報をまとめるのが毎回大変でした。

まち: 編集会議が長くてまいった。「もうやめてよ」と思うことがたびたびあったよね。時間は長くても、言葉として残す作業は大事だと思って

(創刊準備号の前文要約)

「こんな道具があったら簡単にできるのに」「制度は知っているがどこで手続きすればよいか」など疑問のままにしていることがあるのではないかな。本当に必要な情報が届いていない現状がある。

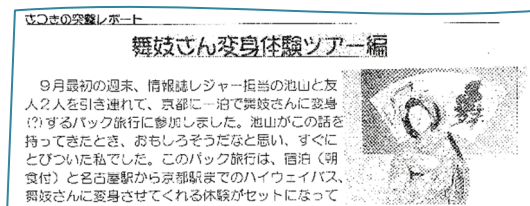
この福祉情報誌は、最新の福祉機器、福祉情報、イベント情報、福祉制度の利用方法について読んでいただく準備中。福祉用具の相談ができて、道具を作ってくれる場所を作ろうと相談中です。

いました。

おもしろかったのは、池山がオカマバーに体験取材したこと。

渡部: 取材の一環でラブホテルに行ったのが、印象に残っています。

さつき: 担当だった「突撃レポート」の舞妓体験は、確か池ちゃんと一緒に行ったよね？カツラ落としてー!!!ゆりさんに「行ってこやー」と言われて、体験したスキューバダイビングもありました。



池山: さつきさんと一緒に突撃レポートをさせてもらいました。まつ毛パーマの体験をしたけれど、取材ということを伝えずに記事にしたら、店から怒られました。あとで謝罪文を書き、送りました。あれは慌てたよね。

司会: 取材に慣れていない、駆け出しのエピソードですね。

あい: 情報誌のメンバーになったきっかけは、子育て記事。まちさんか池ちゃん、どちらかの子育て

1992年11月28日

AJU福祉情報誌

暮らしにそく役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります

創刊準備号

発行：福祉・福祉機器情報誌発行グループ
連絡先：〒466 名古屋市昭和区恵方町2-15 AJU自立の家内
tel 841-5554

あなたの困っている事、ずっと疑問に思っている事教えて下さい。

「こんな道具があったらもっと簡単にできるのになー」とか、「制度は知っているけどどこへ行けばいいんだろう?」とか、疑問のままにしている事がいくつかあるのではないのでしょうか? 情報はあふれていますが、本当に必要な情報が届かないのが現状です。

この「福祉情報誌」は、最新の福祉機器、福祉情報、イベント情報、現在の制度の利用方法について多くの人に読んでいただいて、少しでも生活に役立てていただく準備中です。また、欲しいと思った時すぐ相談できて、道具まで作ってくれちゃうなんていう場所も作ろうとO.T.(作業療法士)さんと相談中です。ぜひ、ぜひ、「福祉情報誌創刊号」を楽しみに待っていて下さい。

スタッフを紹介します。ファンレターも同時に受け付けてます。(よろしく!!!)

自助具の相談、作成担当
O.T.(作業療法士)
田原さん

スポーツ・レクリエーション情報担当
渡部さん

ハイテク情報担当
渡部さん

O.T.(作業療法士)
江戸さん

イベント情報担当
尾崎さん

いろいろな情報担当
久米さん

福祉機器担当
佐々木さん

福祉制度の指導
大会さん

ママたちのつづき

～発達障害の子どもを通して～

はじめまして、私、山田雪（旧姓：高橋）です。脳性まひという障害です。もう、アラフォーなのに「あいちちゃん」なんて呼ばれています（笑）。年齢15歳、6歳年上の母親と小学4年生の弟の子ども3人家族で暮らしています。よさこいチーム「あいち」のメンバーです。今回、本誌の編集委員になり、初めて記事を担当します。一人では未熟なので大先輩の池山ひるみさんと「ママ相談」をさせていただきまして、未来よく楽しくお話しします。



こんにちは、久々に登場した編集委員の池山（二分増、通称実娘）です。前職の頃からレジャーに出る時は時々書く習慣になってしまいましたが、息を止めて子育てするようになってからは時々書く習慣になってしまいました。今回、先輩のママちゃんデビューということで、意外な共通点があることを知り、障害を持った娘として、それに加えて息子が発達障害だったということまで感謝会をさせてもらいました。本音トークで盛りあっちゃいました。

体験記事で、子育てしている人がいるんだと知ったのがきっかけでした。子どもに障害があ

るというテーマで対談させてもらいました。

私といえば、お菓子のイメージがあったみたい。最初の頃、お菓子の取材を指名されて、出かけた覚えがあります。普段は食べれないので、よかったなーと思いながら取材しました（笑）。

もっといろいろなことを取材してみたかったな。

さちこ:今の家に、どんな段階を経て住んだかを書いたことが印象に残っています。部屋探しから改修工事、引っ越したことで。

ひとりで暮らし始めました！

お久しぶりです！ 高橋幸子です。夏が終わり、秋がやってきました。



日中はまだまだ暑いですが、朝晩は肌寒くなってきましたね。これから寒暖の差が大きくなるので、体調管理には気をつけましょう。

私は生まれつきの脳性マヒで、日常生活では電動車いすを使っています。



議員さんと話をしたり、名古屋城の横丁の取材にも行きました。福祉ネイリストの資格を持っている人の話を書いたり…。

初めて書いたのは、夏季自立体験のスタッフをやった記事。その時は、文章を書くのが久しぶりだったから、つたない文章でみんなに受け入れてもらえるかどうか心配だったけど、書いているうちに、ちょっとずつ文章の力が上がったというか、勘が取り戻せたというか。書くのは時間がかかって大変だったけど、結果、総合的にみれば楽しかった。

司会:自分のことをみんなに知られるのは恥ずかしくなかった？

さちこ:どちらかと言えば、自分をみんなに知ってもらいたかったけど、他の編集委員に比べると文章力がないと思っていたから、それが心配でした。

司会:編集委員の中では、一番若手のライターとして体験を伝えてもらったので、とても貴重だと思います。先輩たちは、何十年も昔に卒業してしまったことを、今の感覚で書いてもらえたのが、とてもよかったと思います。

さちこ:個人的な趣味で読書感想文が載ったというのも、思い出深いです。大学の授業で、服をリメイクしてもらったこともありました。

司会:趣味が活かせたり、おしゃれ体験ができてよかったですね。

さつき:二次障害について書いたときは、すごく難しく大変でした。

司会:もともと書くことが得意ではないけど、編集委員になって取材したり、文章を作る体験で鍛えられたのですね。編集委員自身も、「はじめの一步」があったのですね。

鬼頭:僕は、アイデア提供係かな。「こんなところへ行くと面白いよね」という話をすると、大谷さんがいろんな人に、「どう？行ってみなさいよ〜」と、結構むちゃ振りしていました。みんながそれに応えて、いろんな方法で文章として形にしてくれた。自信がついたり、成長していったと思います。

池山:はい。ですね。

鬼頭:当時、みんな若かったし、右も左も分からない状況だった。「突撃レポート」は、仕込みなしのまさに「突撃レポート」なので、大変だったと思う。文章にしてもらったのを見て、「いいんじゃないの」「もう少しここを、こういうふうにしたら」と言うのが大谷さんの役割でした。体験と知恵が重なり合って、福祉情報誌としては面白くなったし、周りからも評価されたように思う。当事者が当事者のために体を張るのが、よかったんじゃないかな。

司会:編集委員で、今残っているのは女性が多くて、しかも今日ここにいる中でも、3人が子育てをしてきた。当時、障害のある女性が出産や子育てしてきた例はそんなにない中で、時代を切り拓いてきた人たちかなあと感じます。子育てを終えて、手を離れて、すっかり忘れてしまったかもしれないけど、当時としては、本当にセンセーショナルなできごと。

池山:やっぱりまちさんの出産レポートが、印象的でした。

透析マタニティーライフ

さんこんにちは。編集委員のイグママです。がこのたび母となりました。と言っても、は結婚したことはしていないので、「えの母？」と思われる方もみえるかもしれません。2年前に結婚してこのたび妊娠し、分娩は、二分産科による剖宮産を経て、健康に産まれました。19歳から透析療法を受けています。妊娠、出産にあたり、この腎機能障害が懸念となりました。



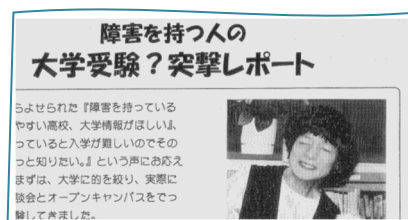
まち: 当時は本当に大変だったけど、今となってはいい思い出です。障害のあるなし関係なく、最近では結婚や出産の話題があまりなくて寂しいなと思う今日この頃です。

司会: 言われるとそうだな。寂しいね。

でっちゃんも、いろいろ体験してきたと思うけど、何か思い出はありますか？

でづ: 一番危険だったのは、三好にある大学のオープンキャンパスに1人で行ったこと。あそこは、駅から降りて、車が多く走っている車道を通っ

て、階段があって、自転車が通るところを車いすですって行った。それが、すごく危なかった。



司会: 身の危険を感じながら、取材に出かけた、という思い出ですね。当時、でっちゃんは、ヘルパーさんなしで、1人で取材へ？

でづ: はい。

司会: ちえみちゃんは2007年、88号からパソコンによる編集を引き受けてくれています。編集にまつわる思い出話はありますか？

ちえみ: 以前は、時々読んだり、二次障害について相談されると、情報誌を勧めたりしました。生の声がいっぱい載っていて、すごく分かりやすく、本人の気持ちや不安な思い、「でも、こんなふうにはできるんだよ」とヒントがいっぱいありました。

昔の情報誌は、手作りの温かみがあって、読みやすい。パソコンでどんなに工夫しても、やっぱり違うなと…。何より自分の知らないことを学んだり、楽しいことも体験できた。でっちゃんたちと一緒に、パラリンピックの選手を取材してカーリング体験をしたり、会う機会はまずない福島智さんの取材…。情報誌だからできました。

当事者の生活にすぐく密着して、ちょっと背中を押したり、次のきっかけになる楽しい企画にも関わられたのは、充実感がありました。



情報誌がなくなったら…

司会: 言語障害のある当事者編集委員にとっては情報誌が表現の場、共有の場だったと聞きました。情報誌がなくなったら、どうやって発信したらよいのでしょうか。

まち: やっぱり、情報誌がなくなるのはもったいないと思います。ネットを介してでも発信していけたらいいなあ。

さちこ: SNSとか思ったけど、不慣れな人もいるからどうすればいいか…。編集委員の人が必ずしも慣れているというわけではないし。

司会: SNSは、普段の生活をそのままさらけ出すというイメージだけど、情報誌の取材は、こちらも新しいことを取材する、冒険とか、ドキドキ感があつた気がする。新しい体験をしていくようなこととセットになるといいなと期待しています。

さちこ: 浅井さんも言っていたけど、今はなんでも、スマホ⇒アプリ⇒SNSの時代だからね。

司会: 取材記事がみんなに読まれたのは、新しいことに挑戦していったことに価値があつたからかな。あんなこともできるんだと、あとに続く人の発見に繋がった。誰かがモデルになって誘ったり、あとの世代に体験を繋いでいけるとよいですね。

鬼頭: これからの時代は、インターネットやSNSは外せない。スマホを使えるかどうかで、情報の取得に大きな差が出てくるよね。情報の発信元がしっかりしていないと、スマホから得られる情報だけでは信用が薄れる。AJUの組織みたいなものを使わせてもらって、情報を発信してはどうか。

「突撃レポート」みたいな、とてもユニーク

で楽しいものというのは、今の時代だったら、画像にして YouTube で発信するというのもありかな。取材する人たちが楽しい人たちので、皆さんが発信元となって、インフルエンサーとなって、広告が付けられるような人たちになっていけると、とても面白いんじゃないかなと思います。

司会: 高橋くんのプロバカの活動は、これからも続くの？

ま〜くん: 多分、僕の熱が続く限り、プロバカ日誌の活動はやっていくと思います。それで、その結果を、SNS とかツイッターとか、インスタグラムとか、ブログとかに載せていこうと



思います。ただ、福祉情報誌は、情報があれば、これだということ載せていこうと思う。

これから

水谷: 3年前に右腎がんの摘出手術をして、転移が見つかり、4月にもう1回手術を受けます。がんがあっても、普通に働けるし、週末ごとに 10 km 走っていますし、がんになる前よりもかえって基礎体力が上がっています。ハンディを背おいながら生きていく時代ですよ。障害当事者の皆さんは、それを先取りして生きている。人生をどんなふうに楽しめるか。それを世間に示したのは、情報誌の編集委員の皆さんだと思います。

ま〜くん: 長い間、この福祉情報誌を続けて頑張ってくれた OB とか現役含めて、楽しませて下さってありがとうございます。これからも、こういう情報を発信していくか課題が残るけど、元気でいてほしいです。とにかく、残りの人生みんな後悔なく楽しく生きましょ。この29年間、お疲れさまでした。

まち: 今は、コロナが落ち着いていないから、なかなか書くネタが見つからないけれど、落ち着

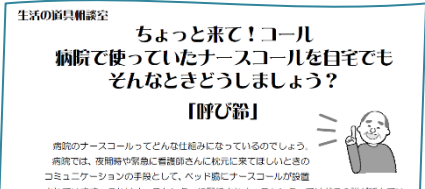
いたら、何かやったことを書いてみたいなあと思っています。

さつき: 私は、既に老後生活かも？皆さん、元気で楽しみ見つけて生きよう！

田原: さっちゃん、私は既に老後生活です。老後生活も楽しいですよ。

司会: 田原さんは今、何をして過ごしていらっしゃるのですか？近況を教えてください。

田原: 老人保健施設のデイサービスで、アルバイトをしながら。あとは、趣味



の長刀をやっています。体を鍛えようと。でないと、アルバイトも続けられないかなと思って。なかなか、皆さんの活動の様子が、情報誌で見れなくなっちゃって、残念です。でも、みんな書く気満々みたいですね。

司会: 書くだけじゃなくて、いろんな体験をやってきて、切り拓いてきたから書けたんだと、改めて認識しました。

田原: 老後でも、いろんな体験ができますからね。

司会: なるほど、そうですか。「みんな、後に続け！」っていうことですね。ところで、なぜ長刀を？

田原: お腹の力が弱くなって、坐骨神経痛にみまわられて、よれよれになってしまいましたので。

司会: 体幹を鍛えるためとか？

田原: そうそう。たまたま地区の体育館に行って。続けられるといいなと思って。みんなも元気なる木を探して下さい。思い切って地域でやっている体育館などに顔を出すと、いろんな方たちがいらっしゃるの、一緒に何かできるかもしれません。



司会: そういえば、でっちゃんも公民館か何かの活動に顔を出してたよね…。そうだ！ダイエットだ。やっぱり、好奇心がある人たちが、今ここにずらっと並んでいるんだということだと思います。

田原: 好奇心が一番大事です。



司会: 好奇心に行動力が結び付いて、それを文章にして、記事にしてきた人たちですね。

池山: 情報誌に関わって、自分の体験を書いたり、いろんな人に取材できたことが楽しかったし、書いた記事によって、読者から何か反応があったときは嬉しかったです。

最近では好奇心が薄れてきてしまい、年のせいなのかな？と思ったりもするけど、今、みんなの話を聞いて、やっぱり好奇心って大事なあって感じました。

あい: 子育ても、一応一段落して、普通に在宅で仕事をしながらも、何か新しいことでも探して、それを文章にできればいいと思うのですが、まだそれが何かは分からないけど、とりあえず、新しいことを探してみることから始めたいなあと思います。

司会: 見つかるといいですね。

さちこ: 私は、メンバーとしては、一番新しい新参者だったのですが、私の記事を通して、みんなが好奇心を持ってくれたらいいなあと思っていて、何よりも、この情報誌の編集会議がAJUのMTの中で一番大好きだったので、なくなるのが寂しいです。

私は私で、コロナに負けないように、自分の中にストレスをためないように、頑張っていると思っています。

司会: 渡部さん、残りの人生、どういうふうに生きたいか聞いてみたいと思います。

渡部: なるようになるさ♪

でつ: これからの抱負はないけれど、仏教の勉強と、遺言の勉強をしようと思っています。

亀頭: 私は、老後生活も後半に入って、いよいよ、終活に取りかかるかなと思っています。今日、皆さんの話を聞いていて、やっぱり、当事者が体験したことは、次の世代に、ちゃんと伝えないといけないんだろうなと。いろいろな方法はあるんだろうけど、やっぱり、障害者の先輩は、障害をもった人の後輩に、些細なことでもいいので、体験を伝えていくことが、1つ

の役割かな。段々と、我々人生を終えていくが、それまでは、体験したことを周りの人に限らず、伝えていく努力を今後ともしていけたらいいなあ。元気で楽しく過ごしましょう。

ちえみ: 私は、すごくアナログ人間なので、ここでいろんな情報をもらったり、一緒に体験することができました。それがなくなるのは、本当に寂しい。情報誌がなくなっても、何かあったら呼んで下さい。コバンザメのようについていきます！みんなの体験は宝なので、伝えられる機会があるとすごくいいと思う。アンテナ張って飛び込んでいきましょ。

まとめ

昔、このAJUが始まったときは、本当に素人集団で始まって、みんなで知恵を出し合って、「あの人の場合こうだった」、「この人はどうだった」って、個人情報もあまり意識しないで、人の体験を元にして、次の人を育てるということを、自然発生的にやってきて、それを、記事にしてきたのが情報誌の役割で、それを次の人に役立ててもらえたかなというのが、情報誌の意義だったように思います。

今、個人名や障害名を出して、体験を赤裸々に伝えるというのが、やりにくい時代になってきている中で、最後まで、そのスタイルを貫いてこられたのは、この福祉情報誌のいいところであるし、誇りだったんじゃないかなと、改めて感じています。

必ず、リード文のところで、障害状況から始まって、自分がどんな素性の人か、明かしながらやるというのは、今までなかったことかなと思います。それを何とか、違う形で続けられるといいなと思います。

コロナ禍で、私たちの経験も制限されてきていますが、きっとまた、新しく体験できる時代を創って、育てていけたらいいなと思っています。



コメント 紹介

木下 努(1990～2010 年代)

長きに渡り、「楽しくなければ福祉じゃない」をモットーに当事者目線で、楽しく、役に立つ情報を発信してきた福祉情報誌、お疲れさまでした。今後も、何か違った形で情報発信が続けられればと思います。

浅井 貴代子

✳みなさんへ

廃止はとても残念です。

30 年前、障害者からの情報発信として、障害のある人のまわりで仕事をする(ちょっと過激に言えば、専門家ぶって仕事してる)福祉関係者、医療・教育関係者、行政窓口へ、一方的に送ることから始まりました。

障害者自身が本当はどう思っているか、何をしたいのかを知ってほしいこと、実際に持っている生活のノウハウや、感じていること、本当は何がイヤで、何に困っているか、何を望んでいるか等々、福祉情報誌に込めて、障害者目線発として、一方的に送っていました。

自立を目指す「はじめの一步」の障害者自身が、文章を書くことは不慣れでしたが、情報誌へ自分の体験を原稿記事として発行することで、自信がつき自己肯定に繋がり、これでいいんだ・ありのままの自分でいいんだと、自立生活へ踏み出せることにもなりました。

この 30 年で、制度や街もバリアフリー化が進み、特に IT 化の変化は、ついて行けない変化となっています。

生活スタイル・様式が進歩というか、変化し、しかもそのスピードが速い時代は、人類歴史上、未だかつてないのでは？と、驚くばかりです。

世の中、何もかもが、スマートフォンがないと始まらない社会生活の仕組みになって、置いてけぼり状態です。

これから生活がどうなっていくんだろう、まずスマホで…。

なんでも、スマホ➡アプリ➡選択➡決定 (これでいいかな？)。

便利という価値観で、この流れに沿ったことに合わせなければ生きてゆけないような、窮屈さ・不安があります。

次世代の情報発信を、是非模索していただいき、新しい時代づくりを創造していただくことを願っています。

大谷 京子(1990～2000 年代)

長らく本当にお疲れ様でした。

編集会議や取材、深夜までかかった編集作業が懐かしいです。私は福祉制度担当で、創刊当時、「トーキングエイド」がやっと日常生活用具になるという裏情報を入手して掲載し、信頼性を高めるために情報源まで書いてしまい、大失敗したのを覚えています。

ゆりさんから編集作業をボタンタッチして、紙面をずっと「一太郎」で作り続け、未だに Word が苦手とか、余韻が残っています。

障害当事者のチャレンジ体験だけではなく、当事者の視点で取材し書いた記事は、多くの当事者の「はじめの一步」をあと押ししてきたと思います。あの人とか、この人とか、情報誌をきっかけに知り合った方々の顔が浮かびます。

障害のある人たちとの雑談が大好きでした。なにげない会話の中に、たくさんのお宝情報があつたからです。これをあの人に伝えたらきっと動き出せる！とか、日常生活のちょっとした工夫や便利グッズ情報、あの居酒屋なら車いすで入れる等等。

障害当事者が中心となり運営する組織の中で、健常者である私のできること、したいことは「情報の橋渡し」だと気がつき、読者の方が、すぐ動けるようにできるだけ詳細な手取り足取り情報にして掲載するよう取り組んでいました。なつかしい。

長くなりましたが、情報発信は今後も大切だと思います。

ホームページ等での発信も期待しています。





【読者】 渡辺 崇史さま

こんにちは、渡辺です。

いつもありがとうございます。

びっくりです。終刊になるのですね。

電子媒体での提供もされているので、印刷物に対して障害がある人にも広く読まれるようになったと思っておりました。

継続的に続けていくためにはコスト面で難しい部分があると思いますが、障害のある人のリアルな声や視点は、毎回、気付かされたりハッとすることも多く、自分が知らないことの多さにも反省したり、あらたな知見となったりしておりました。

ですので、何らかのカタチで発信し続けていただけたらいいなあと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

【読者】 みこみく さま

本日定期購読させていただいております福祉情報誌を受け取りました。

今、開封して、貴誌終刊のお知らせを拝見した次第です。

毎号充実した内容で、読むのを楽しみにしていたので残念です。

どの記事もとでも読み応えがありましたが、特に、エッセイ「かつきのページ」がすごく面白かったです。それからプロレス好きの方の観戦記♪自分も行った様な爽快な気分になりました。

ほんと残念ですが、楽しい購読の機会をいただきありがとうございました！

私も若い頃に出版社に勤務し、今も NPO で有料発行誌の編集に携わっております。編集スタッフの方、ご苦労も多かったと思いますが、編集の醍醐味や楽しいこのご経験は、きっとこれからへの良き糧となると確信しております。

長い間お疲れ様でした。

尾崎由利子(1990 年代)

結構長い間続きましたね。

楽しく便利な情報を紹介できてよかったですね。

佐々木克己

元福祉情報誌編集委員の佐々木克己です。

福祉情報誌発行当初から編集委員でしたが、当初のページ数も少なく、大きさもB5判だったかな？

発行当初は車いすで入れる映画館、車いす利用者でも利用できる市バス、地下鉄の情報を掲載していました。

今では、地下鉄も市バスも車いすで利用するのが当たり前になりました。隔世の感があります。

文章を書くのが苦手だった私としては、締め切りに間に合わせるのが大変だったのと、編集会議で自分の書いた原稿にダメ出して、書き直すのもきつかったです。

嬉しかったのは JR 高島屋がオープンした時に高校生の読者が、自分の書いた原稿が役に立って、高島屋に行ってみたという記事を読んだときに、ささやかな喜びを感じた時です。

宮松 昌代

校正修正作業だけのはずが、知らないうちに編集会議に座していたのはなぜでしょう。(笑)

時には、誰かが発した何気ない“言葉の力ケラ”がキラキラと光り出し、とても大切な“生きる”になる瞬間がありました。トラベル関係の皆さま、松本様をはじめ、取材で訪れた御園座の T さん等々、書ききれない多くの方々に大変お世話になりました。この福祉情報誌を介していただいたご縁は、今後も大切にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

編集委員の仲間たち、ありがとう！！

鮫島 真理

まさかの、私が最後に入った編集委員になってしまいました。一読者として楽しませていただいた私が、編集に参加できることとなり、作り手の苦労も感じました。記事はあまり書けませんでした。編集会議を含め良い経験をさせていただきました。貴重な機会を、ありがとうございました。

長い間、本当にありがとうございました。

いつの日か また どこかで…

フロバカ日誌 2021

～さよならフロバカ…でもまだ続きます！～

皆さま、こんにちは。「まーくん」こと高橋誠です。僕は肢体障害と聴覚障害というダブルなハンディを抱えていて、現在、わだちコンピュータハウス（障害者就労支援事業所）でおとなしく働き、休みの日は熱狂的なプロレスファンに大化けします。月に1回ほど観に行っています。最近ではプロレスファンたちとプロレス関係者に、すっかり顔が知られるようになりました。

今回は、スターダム女子プロレスの追っかけの続きや今までの遠征の振り返り、現在のプロレスLiveについてお話をします。



フロバカ活動報告

あまり夜に出歩かなくなったせいか、プロレス観戦をする時間が減ってきています。でも、スターダム女子プロレスだけは、しっかりと観ています。

スターダム女子プロレスの追っかけについては、174号に書いてあるとおりです。

2021年10月以降、できるだけたくさん遠征してみました。

11月23日、愛知県津島市にある津島市文化会館で行われました。名鉄金山駅から最寄り駅の津島駅まで45分くらいかかります。そこからは徒歩10分くらいで着きました。とてもものどかな町でした。通る道も、都市部とは違って、何といひかなあ…まったりしているなあと思いました。

試合が終わり、駅に戻る途中、道を間違えたせいか、自転車置き場（しかも仕切り線がなくて、ただズラッと並んでいる！）に迷い込んでしまいました。地元住民に助けてもらいながら駅にたどり着きました。

駅のホームでは、スターダムの岩谷麻優選手と社長さんがいてびっくりしました。なんか仲が良くおじいちゃんと若い孫みたいな雰囲気、ほのぼのとしていたなあ。

次は1月15日、多治見市産業文化センター。ひとつ山を越えてという感じで、JR金山駅から快速で30分、JR多治見駅で降りました。会場までは徒歩15分です。

さすがJR！バリアフリーはしっかりしていて、駅の周りの道路がきちんと整備されていました。電動車いすでも走りやすかったです。会場に行くには、商店街を通らないといけません。しかし、ちょうど商店街の道路が整備されたばかりで、これまた走りやすかったです。商店街には、昭和時代の雰囲気が残っていてとても懐かしかった。

1つ怖かったところは、会場すぐ横の土岐川にある橋の両端がちょっと急だったので、ビビりながら通りました。

多治見市産業文化センター入口には、スロープやエレベーターがあり、会場までの移動がスムーズでした。ちなみに別フロアでは、手話通訳者の集まりがあったそうです。不思議な組み合わせだと思いました。



ついに愛知県体育館に！



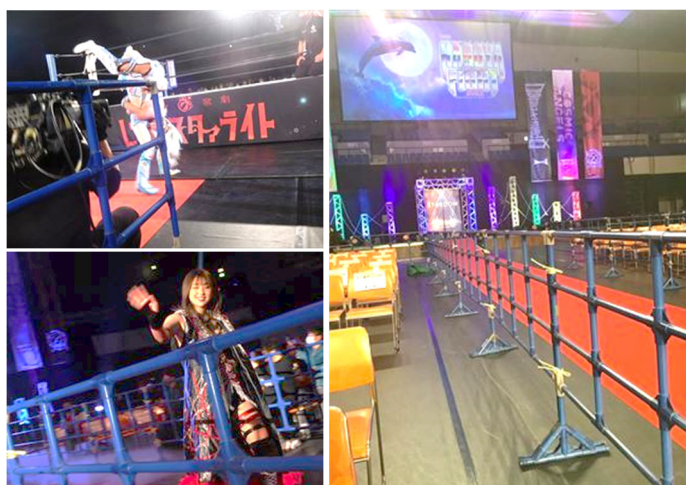
1月29日、旗揚げしてから11年、初めて愛知県体育館ドルフィンズアリーナで行われました。

席は何とVIP席で、しかも花道のすぐ近くでした。これは、会場に着いて初めて知って、めちゃくちゃびっくりし

ました。ちなみに愛知県体育館に通って 30 年くらいで、初めての 1 列目です。料金？プロバカ史上最高金額 30,000 円！

スカパー！生中継や YouTube など、僕の顔が長い時間映っていて、めっちゃ恥ずかしかった…

試合は、3 時間半。本当は、僕の女神様こと中野たむちゃんの里帰り記念興行だったけど、たむちゃんが体調不良で欠場になってしまいました。がっくししましたが、それを忘れるくらい、どの試合もドキドキして楽しかった😄入退場する選手たちや場外での攻防が、目の前で観れました！



愛知県体育館ドルフィンズアリーナは、あと数年で閉館され、名城公園北園に移転新築されます。愛知県新体育館でも開催されると良いですね！これから落としには、新日本プロレスかドラゴンゲートになってほしいと思います。

新日本プロレス 50 周年記念エキシビション「シンニチズム」

3 月のホワイトデーの日に、新日本プロレス 50 周年記念エキシビション「シンニチズム」を観るために、名古屋パルコまで行ってきました。本当は土日に行くべきですが、コロナ禍のため、敢えて人通りが少ない平日にしました。

地下鉄矢場町駅からパルコに行くには、ひとまず隣の松坂屋名古屋店のエレベーターを使うことになります。松坂屋へ行く地下通路には、確か 3 つくらいのスロープがあります。デザインが独創的だったので、なんか昔のロボットアニメ「グレート

マジンガー」での発進シーンを連想してしまいました(´0´)😊

「シンニチズム」内では、1972 年の新日本プロレス旗揚げから現在までのアイテムが、たくさん展示されていました。僕は、猪木さん〜藤波・長州・初代タイガー闘魂三銃士（武藤・蝶野・橋本）時代のアイテムをいろいろ観て楽しかったです。

「大巨人」ことアンドレ・ザ・ジャイアントの実寸大パネルと、ツーショットしてきました。で…でかい！アンドレのマスクやシューズももちろんでかかった！



アイテムで一番感動したのは、昔の道場にあった闘魂棒（こん棒）や故・橋本真也が着ていたスーツ、武藤敬司が昔かぶっていたスペースローンウルフヘルメットでした。これまた、でかかった！

ヘルパーさんがデジカメで 1000 枚ほど撮ってくれましたので、PC やタブレットに取り込むのが時間掛かったわあ(´0´;))

入場シーンや試合後のインタビュー、認定書調印式シーンを体験する事ができます。入場シーンは、オカダ・カズチカのテーマ曲で体験しました。



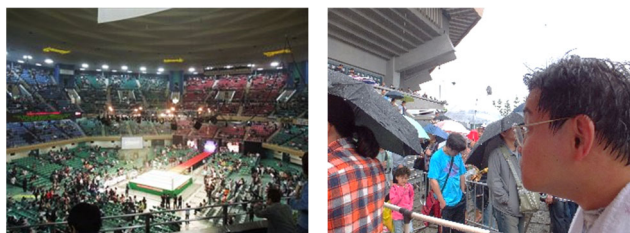
全国に巡回されますので、マメにネットでチェックしてみてくださいね。特に昭和から平成時代を過ごした方々なら楽しいですよ！

プロレスバカ遠征の振り返り

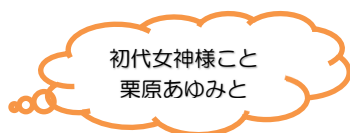
プロバカ日誌のルーツは、映画「釣りバカ日誌」からで、僕は西田敏行さんが演じるハマちゃんの生き方に憧れていました(´0´)😊

10 年前から思い立って、いろいろ遠征しました。きっかけは、2013 年のゆずポンと小橋建太、栗原あゆみの引退（124～126 号掲載）でした。その年は、東京のプロレス会場で有名な両国国技

館や日本武道館、後樂園ホールに行きました。その中で一番大変だったのは、日本武道館での小橋建太引退記念興行の時でした。大雨土砂降りの中、グッズ購入のため長い時間行列に並んで、さらに座席の背もたれが小さくて座り心地が悪くなくて腰を痛めました。そのまま観戦して、試合に燃えて（その時は腰痛は忘れていました）、終わってから激痛のまま、池袋まで大移動でした。東京の地下鉄の広さが果てしなかったです…（125号掲載）



初代女神様こと栗原あゆみ引退試合も大変でした。引退試合前日は大阪まで追っかけし、帰宅して、引退試合当日の早朝に東京まで行ってきました。しかも某バーガーにあたったのか、腹痛も起こしながらの観戦でした。その日は会場のトイレが工事中で、上の階のトイレまでの移動が大変でした。（126号掲載）



その後は、年に1回ほど、大阪への遠征を欠かさずしていました。特に、WWE来日公演や天龍源一郎、最後の大阪などです。（132・137・151号掲載）



2015年は天龍源一郎引退のため、2週続けて東京まで引退試合やイベントに行きました。天龍さんとスタンハンセンと、スリーショット写真に収めたり、引退試合で天龍さんの頑張りに涙腺崩壊しました。

（139号掲載）



2017年と2019年は、憧れの藤波さんのトークショーにも参加しました。藤波さんと木村健悟さん、藤波さんと長州力さんとのスリーショットに収めました。しかも藤波さん自ら、握手をして下さいました。

トークショーの内容は、後からネット記事で見ました。なかなか面白い内容でした。（151・164号掲載）



2019年は、ジャイアント馬場追善興行で、ブッチャーさんと母ちゃん、僕のスリーショットを写真に収めたり、マスカラス兄弟を初めて観て感動しました。（159号掲載）



一番大変だったのは、2017年9月のWWE日本公演でした。大型台風の真っ只中のため、歩きがままならない中、駅内で車いすを借りて押してもらったり、タクシーで移動しました。また、会場の冷房が効き過ぎて、凍死しそうになりました。（151号掲載）

あと、遠征では移動に時間が掛かって、まともな食事がとれない事が多かったです。



2020 年からは、コロナ禍と僕の体調の劇的な変化のため、プロレス観戦のための遠征が少なくなりましたが、現在の女子プロレスの女神様こと中野たむちゃんの試合を観に、スターダム女子プロレスの観戦を欠かさずにしています。チケット発売初日での争奪戦もしています。Twitter で、スターダムファンたちと「1 列目とったどー!」「取れなかった…がっくり…」と報告し合ったり、喜びと悲しみを共有し合っています。



プロレス Live 動画配信について

現在、コロナ禍のため、席数や席の間隔、観戦マナーなどの制限がかけられています。声出しや選手との触れ合いは、もってのほかです。

プロレスのビッグマッチの生放送や、生配信が増えてきて、自宅で観戦することができます。生中継ライブだけでなく、過去の試合などのアーカイブ（録画）もありますので、いつでも観ることができます。

それぞれの団体から動画配信サービスがありますので、紹介します。

- 新日本プロレス…新日本プロレスワールド
 - 全日本プロレス…全日本プロレスTV
 - プロレスリング・ノア…ABEMA
 - ドラゴンゲート・プロレス
…ドラゴンゲート・ネットワーク
 - スターダム女子プロレス…スターダムワールド
- ※ファンクラブ入会が必要。

いずれも有料ですが、支払い方法ではクレジットカードやスマホでのキャリア払いなど、いろいろあります。あとはスカパー！に加入し、基本セットと FIGHTING TV サムライと契約すれば、たいいていのプロレス中継が観れます。

YouTube などでも、無料で観れるサイトがあると思います。いろいろ探してみてね。

ま〜くんは、もちろん「新日本プロレスワールド」と契約しています。特に、猪木さんの昭和から平成の名勝負ばかり観ていました。

でも、生で観るほうがすごく楽しいと思います。



この情報誌が終わっても、プロバカ日誌は終わりません！だってプロレスを愛しているんです！

これからもSNSを通して、プロバカぶりを発信していきま〜す！



初代タイガーマスクと



馬場さん・猪木さんと2ショット

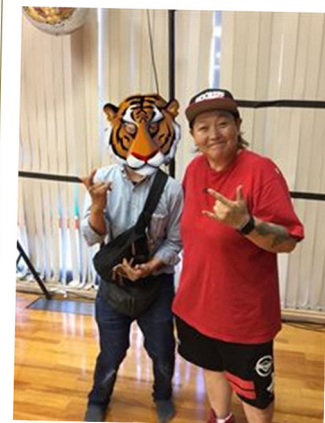
プロバカ日誌 思い出フォトコーナー



大仁田厚さんと組み、アジアタッグ?



故ハヤブサさんとツーショット



長与千種さんとツーショット



スタローンおたくレスラーとツーショット
当時はロッキー川村で
現在はランボー川村だそうです...



まーくん、全日本プロレス入り!?



成人式晴れ着姿の桃野美桜ちゃんと
ツーショット



全日本プロレスエース
宮原健斗選手とツーショット



まーくん、IWGP 王者になる!?



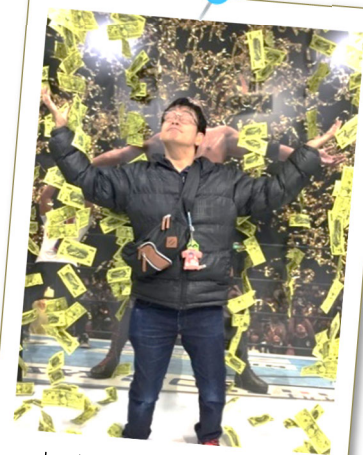
世界の逸女と
ツーショット



まーくん、米 WWE 移籍!?
メジャーリーガー誕生!?



風香さんとツーショット



レインメーカーまーくん!?

《津島市文化会館》

住所：〒496-0801

津島市藤浪町3丁目89番地10

アクセス（電車）：

名鉄「津島」駅より徒歩10分

アクセス（車）：東名阪自動車道・弥富ICよりR155を
北上約15分

休館日：年末年始（12/29～1/3）

飲食売店：館内にあり名鉄「津島」駅から移動の途中に複数の
飲食店がありました。**バリアフリー：**出入口に段差なし／多目的室あり**駐車場：**公共交通機関をご利用ください。**お問い合わせ：**津島文化会館

TEL：0567-24-1122

FAX：0567-24-2104

Email：info-1@tsushimabunka.jp

《多治見市産業文化センター》

住所：〒507-8603

岐阜県多治見市新町1丁目23番地

アクセス（電車）：

JR中央線「多治見」駅より徒歩15分

アクセス（車）：

名古屋方面より

多治見IC～248号線を南進

～市民病院前を左折～つきあたりまで直進

～T字路を右折

土岐方面より

19号線～[弁天町]で左折～直進

瀬戸方面より

248号線～多治見南消防署を越える

～次の交差点で右折～道なりに直進

開館時間：午前9時～午後9時30分

休館日：月曜日

飲食売店：館内にあり

駅から移動の途中に商店街あり

バリアフリー：出入口に段差なし／多目的室あり**駐車場：**公共交通機関をご利用ください。**お問い合わせ：**多治見市産業文化センター

TEL：0572-25-3111

FAX：0572-25-3231

Email：sanbun1@ob.aitai.ne.jp





あした天気になあれ

～ ぐり巡ってみませんか ～

ちょっと雰囲気味わってみましょう。ちょっとですよ。というのも、10分も進めば突き抜けてしまうからです。岐阜市の川原町（かわらまち）。ノスタルジックな町並みが残されていて、どこで撮影しても絵になります。雰囲気よく舗装されていますし電柱もありません。車椅子で、かなり自由に動くことができます。



観覧船乗り場

▲川原町入口

▼川原町東端



▲川原町のカフェ



▼ひょっこり覗いてみるのが楽しい

このお店の入口は、町並みの裏側。明治初期の家屋をリノベーションしているので、裏庭の縁側が入口なのですが、車椅子であることを伝えれば、フラットな入口を案内してもらえます。ついながら、ここのモーニングのパンは食べきれない量で、持ち帰り用の袋がもらえます。でも、ゆったり町並みを楽しむには、長時間駐車できる方がよいでしょう。

川原町は、東端の長良川鵜飼の観覧船乗り場から始まります。この乗り場の裏側が長良川。町並みには伝統工芸の「岐阜うちわ」、昔ながらの雑貨など、お土産にもマイグッツにも楽しいお店が見つかります。高級なレストラン、ベーカリー、料理屋、みたらし団子も。一軒一軒のお店は、スマホなどで検索すれば大きな写真つきで紹介されていますから見てください。古い家屋そのままなので、2・3段の石段があったりしますから、出かける前に計画を立てておくとういことだと思います。ぐーんと見上げると、岐阜城が見つかります。ここ川原町からでも、信長時代の石垣を見られるように整備が進んでいます。



よく見ると山のてっぺんにお城が！

ここまでどうやって来るか。川原町の町並みは車も通れます。ベーカリー・rustico4（ラスティコフォー）の裏に、お店の駐車場があります。

このお店の入口は、町並みの裏側。明治初期の家屋をリノベーション



趣のある ATM
その向こうがラスティコフォー



ラスティコフォーの入口
↑左の縁側

↑フラットな入口
右のスチール扉は店のシンボル





▲岐阜公園総合案内所



▼かわいい水門

記念で作られました。もう少し奥に、滝の音が聞こえてきます。

金華山裏の断崖からの迫力です。滝壺の池は整備されていて、下りることができます。この池の名前は「御手洗池（みたらしいけ）」。**正しく読んで下さいね。**間違ってもトイレのように…この池に幽霊が出るという噂も。もともとは長良川の入江で、もっと深かったのですが、それだけではないよう



▲ポケットパーク「名水」



▼芭蕉と川端康成の碑

高橋尚子ロードの
モニュメント高橋尚子ロード
(スケボーもやっています)

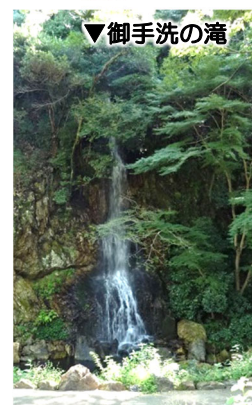
一例として、少し離れますが、岐阜公園の駐車場からご案内しましょう。

信長の騎馬像が目印の岐阜公園の正門の南に、かなりの広さの障害者駐車場があります。桃の看板バーミヤンの向かい側です。金華山ロープウェーの乗り場も近くです。岐阜公園総合案内所では、車椅子の貸し出しもしていますが予約はできません。

公園正門から、長良橋に向かって交差点を渡ります。すぐの用水に小さな橋がかかっていますが、その右上流の水門がとってもかわいいです。少し進んで、長良橋のすぐ手前の路地を右に入っていくと「ここは中国？」と間違ふような門が待っています。日中友好庭園といって、岐阜市と杭州（こうしゅう）市の友好都市提携



▲日中友好庭園



▼御手洗の滝

で、看板を読むと「そうか」と。

長良橋に戻ります。橋の脇道を突き当たりまで進んでみましょう。小さな三角公園ポケットパーク「名水」です。ここには、松尾芭蕉の句碑「おもしろうて やがて悲しき 鵜舟かな」、岐阜が舞台の小説を書いた川端康成の碑などなど、ちょっとアカデミックな場所です。

橋のトンネルをくぐれば、鵜飼いの雰囲気になります。川原町の始まりです。もうここからはスマホの情報でGO。なお、この地域はよく整備されていますから、多目的トイレはあちこちにあります。

せっかくですから、長良橋を渡ってみましょう。長良川球場が見えます。向こう岸には、ずーっとランニングコースが続いています。ぐらりと回り込んで川岸に下りてみます。このコースの起点なのですが、マラソンの高橋尚子さんの足型とシューズのモニュメントが作られています。このコースは「高橋尚子ロード」と名付けられています。

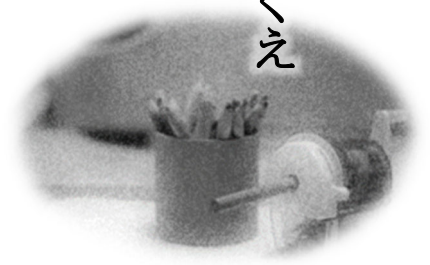
周辺情報だけでも、まだ紹介しきれません。ゆったりと巡ってみてはいかがでしょうか。

あした天気になあれ



（軽タクサンダル）

きいろい つくえ



堤 剋喜

その日、電動鉛筆削りに初めて触った。削る代わりに、ボキリ。鉛筆を折ってしまった。手に残骸が残る。斜めに入ったギザギザの折れ口から、芯の側面が見えた。鉛筆の中つてこうなっているんだ、と小さな発見にひたるとまはなかった。

「おまえ、どうやったら、鉛筆がこんな風に折れるの?!これ電動なのに。」自分では何が悪かったのか分からない。入学に向けた実地訓練で予想外の失敗。しゅんとなる。電動とはいっても、全自動ではないから、削るためには人力も要る。鉛筆を穴に差し込んだだけでも、モーターは動き出す。でも、鉛筆から手を離してしまうと、モーターと同じ方向に鉛筆が回る。削れないまま。強く押し込みすぎると、モーターの回転が止まる。

鉛筆に跡がつく程度だ。まあ、ここまでなら想定内。きつと手を添えられるだけ。大きな声で叱られずに済んだろう。

今でも、素手で鉛筆を折れるかどうか。試す気はないが、よりによって、あのときだけ折れてしまったのはなぜだろう?

机の右隅、一番奥に鉛筆削りがあった。だいぶ小柄だったから、椅子に座ったままだと、手が届かない。立ち上がる。鉛筆はどうか穴に入ったものの、その後の力加減を知らなかった。力一杯押し込む。つまり、体重をかけた。鉛筆が刺さったまま鉛筆削りが斜め上を向く。僕の体が支えを一つ失って、足が浮き、前に倒れ込む。ずつと鉛筆を握りしめていたから、どこかで、この原理が働き、鉛筆が砕けたのだろう。机が僕を受け止めてくれた。だから、

痛くなかった。

堅牢で、十年近く動いてくれたあの鉛筆削りは、レモンに近い黄色。机はみかんに近い黄色で、天板の縁と引き出しの枠は白。父は黄色の目覚まし時計も探したが、結局、見つからなかったそう。黄色の物を持たせようとした理由を教えてもらわないうちに、父は帰天した。(二代目の目覚まし時計は縁取りが黄色だった。)

父の病室で。山荘に行つたこともなく、言葉の意味も知らないのに、実況中継の「あさまさんそう」を聞き覚えてしまい、口に出すと、間を置いて「行つたら殺されてしまうよ」と、やんわりたしなめられる。この言葉は使つてはいけないと、理解できた。

元々、父の考えは「この子の人生は長い。機能訓練を優先し、就学を一年延期するのが妥当」。僕もそうなるものと思つていた。ところが、校長裁量とやらで、最寄りの普通校が「近くにいる私たちがお引き受けするのが道理でしょう」と入学を許可。「好機を逃すな」とばかりに、「一年延期」の話は完全に吹っ飛んでしまった。♪友達100人できるかな!どころではない。『僕は一体どうなるの。入学式が一日

でも遅くなればいいのに。きつとまだ先だよ』と不安がつたり、願う、というより、自分に言い聞かせながら眠りに落ちた。曜日の感覚はあつたが、カレンダーに並んだ数字の意味をまだ知らないまま。これは臨床家が見れば、恐怖症のほうだろう。でも、主観的には寝る前のお祈りに近かつた。十字は切らなかつたけれどね。最短のお祈りを習つたのはずーと後。『ご加護を』、と…。

例の黄色い机は健在。学習机故、天板の高さを変えられる。背比べの柱の傷はないけれど、この机には高さ調整用に目盛りがある。使い始めた頃、一番下から二番目のところに天板がはめてあつた。きのう、椅子に腰掛けると、膝頭が来るような高さ。父の生涯を越える年月を経ても、黄色と白のツートンは色あせていない。父の色彩感覚は確かだった。最初の頃、福祉情報誌の原稿も黄色い机で書いていた。長い間、ご精読頂き、深くお礼申し上げます。

個人的にはまだネタ切れではないので、お目にかかる機会があれば幸いです。

旅の空から

皆さん、『福祉情報誌』もいよいよ最終号となりました。私が担当してきた「旅の空から」も、今回で終了となります。どんな記事を書こうかと悩みましたが、これからは個人で旅行にお出かけなさる方々が増える時代ですから、そのヒントとなるような内容にしました。



◆ 旅行費用をお値打ちに

障がいの度合いで、どうしても同行の方やヘルパーさんと一緒にお出かけなさる方は、費用も2人分、3人分が必要という方もいらっしゃることでしょう。

そのような時は、可能な限り平日にお出かけなさると旅行費用がかなり抑えられます。

◆ 飛行機を使った旅行

航空会社が、「飛行機＋ホテル」というセットプランを販売しています。皆様が、身体障害割引で購入なさるよりも安い航空運賃でホテルがセットされています。

ただし、ホテルは通常のお部屋がセットプランなので、申し込み時にバリアフリールームのリクエストが可能か問い合わせすると、追加料金が必要か、同料金で申し込み可能か返答してもらえます。



飛行機は上空から見える景色も楽しめる。☆三重県・県営サンアリーナ（シンガポールからの帰国便にて）



◆ 目的空港から公共交通機関で移動できること

目的地に到着しても、リフト付き車いす用タクシーなどを利用すると、予約が必要だったり、金額が大幅に高くなります。地下鉄や電車で移動できる空港なら、街中に移動するのに料金もかなり安く移動可能です。もちろん路線などは、事前にインターネットで調べてください。

車いす利用で、国内なら新千歳空港、仙台空港、羽田空港、伊丹空港、関西空港、神戸空港、福岡空港、宮崎空港、那覇空港が移動に便利です。街中に出てから、地下鉄などもあり便利ですね。

◆ 目的を絞ること

あちらこちらの観光地巡りと、その土地で評判の食べ物と、ついでにネットで有名なお土産も買いたいなど、あれこれ詰め込んでしまっただけでは移動に公共交通機関だけではアクセスできない状態となり、専用の福祉タクシーなども必要となります。

“せっかく出かけたら”と、あまり欲張らないで目的を絞ってください。



パラリンピック応援は、目的を絞った旅行だ。（2008年北京パラリンピック開会式）

◆ 安さだけを求めない

お値打ちに旅行できることは良いことですが、安さだけを求めてしまうと、どこかに落とし穴があると予想してください。



ホテルの朝食はゆったり優雅に。個人的には一番楽しい食事。

最低限ココは譲れないというポイントで、旅の計画を立てることも大切です。ホテルで豪華な朝食バイキングを食べたい人はホテルに重点を置く、部屋の使いやすさを優先する人は設備にこだわって予約するなど、お金をかけるところを明確にしましょう。

そして、外国ではチップが必要な国もあること

そして、外国ではチップが必要な国もあること

をお忘れなく。チップが給料という人たちも多くいらっしゃいます。ケチってサービスを受けられないほど悲しいことはありません。



外国ではトイレにもチップが必要な場合がある。(有料トイレ)

◆ 海外での行先は

外国では、なおさらどの国が良いのか不安でしょう。その場合も、空港から電車や地下鉄で移動可能な場所を選ぶと良いでしょう。

車いす利用で便利なのは、アジアでは台湾の桃園空港から台北市まで地下鉄が運行されています。



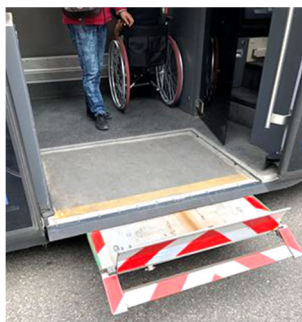
電車が、車いすご利用の方は一番安心して利用できる。

韓国の仁川空港からも、ソウル駅まで高速鉄道が運行されています。シンガポールも、チャンギ空港から地下鉄で街中へ移動可能です。クアラルンプール空港も、高速鉄道が運行されており良いでしょう。

オーストラリアなら、シドニー空港は鉄道路線が整備されており便利です。アメリカは、ロサンゼルス空港やアトランタ空港には鉄道が整備されています。しかし、アメリカの空港ターミナルは巨大なので、空港駅まで距離があることを理解した上でお出かけください。

ヨーロッパでは、パリのシャルル・ドゴール空港やフランクフルトのアムマイン空港には、電車が運行されており街中へ出るのも便利です。

最新の情報では、ハワイのホノルルにあるダニエル・K・イノウエ空港（ホノルル空港）から電車の路線ができるそうです。完成は2025年とのこと。便利になりますね。



ミュンヘンの市電は電動でスロープが下りてくる。まっ平にならないので注意が必要。

◆ 困った時はどうするか

まず、周りにいる人に声をかけて助けてもらいましょう。日本国内でも外国でも、困っている人がいれば助けようという気持ちは同じです。

海外の空港では、日本路線があれば日本語担当の人が必ずいます。困ったら恥のかき捨ててはいませんが、誰かに助けを求めましょう。

◆ 体調が心配

日本国内なら、病院に行けばなんとかなります。救急車も呼ぶことができます。しかし外国になると、救急車が有料、日本の保険証では診察してもらえないということも発生します。

そのために、海外旅行傷害保険というものがあります。ネットで加入すると、お値打ちな保険料で大きな安心を買うことが可能です。アメリカで盲腸の手術をして300万円という話も聞きますので、加入するなら治療・救済者費用で1億円くらいを目安に、旅行バッグなど携行品などは私の場合、最低の5万円とか10万円のものです（保険会社によって違います）。死亡保険金は、1,000万円くらいです。日本の生命保険もありますので、海外旅行で万一、命を落としても葬式代くらいと考えているからです。



◆ 外国では言葉が心配

外国では、言葉の心配はありますね。しかし、ホテルや観光地では片言の日本語を話す人も増えてきました。日本の観光客がよく行く場所なら、あまり心配しないでください。ホテルも日系のホテルを選んで宿泊する方法もあります。片言の英語でも

できれば、そんなに心配は不要です。

せっかく外国に来たなら、片言の英語や現地の言葉で料理の注文をしてみてください。出てきた料理がとんでもない料理だったら、それも楽しい



シンガポールのユニクロ

旅の思い出として残ることでしょう。

◆ 治安について

日本国内なら、治安の悪い場所はそれほどありませんから心配ないでしょう。ぼったくりバーに行く人は別として・・・。

外国では、注意が必要な場所があります。旅行雑誌やインターネットで情報が出ていますので、行く前に調べることは大切です。

私は、昼間に観光客が集まるような場所ではリラックスして楽しんでいます(ただしスリには注意して)。夜は、人が多い場所で食事をするようにしています。時には屋台街にも行きます。

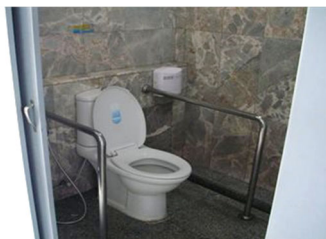


台北 「スルメイカが破裂します」のローカルフードと「豆乳プリン」

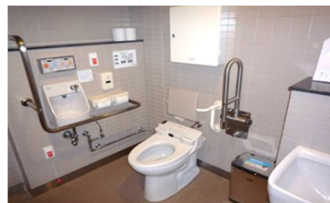
ホテルのレストランは安心ですが、料金が高いので外に出るのです。その場合も、ホテルから徒歩で行けるように、便利な場所にあるホテルを選ぶようにしています。ホテルの人に、おすすめのレストランも聞けますからね。

◆ 行きたい場所はバリアフリー？

旅行は、普段生活している自宅とは違います。観光地やホテルなどは、皆さまの体の状態に合わせて造りではないことをご理解ください。あくまでも標準の設備です。



外国の身障者用トイレ。トイレ事情は場所によって大きく違う。

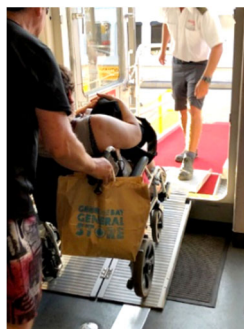


日本の身障者用トイレの代表的な設備。

完全なバリアフリーを目的に旅行すると、お出かけいただく場所の選択肢が少なくなります。

行きたい場所に行くことが目的という人は、多

少の不便もあまり気になさらないようです。



西オーストラリアのパークルーズ船車いすご利用の方が乗船の場合はスタッフがスロープを用意して最優先で案内。

東南アジアでは、車いすごと抱えて下さる屈強な男性をお願いして現地での観光を楽しんだ方もいらっしゃると思います。目的は人それぞれですから、多少の不便より旅の楽しさのほうが上！という人は、ある意味、達人かもしれません。



長野 善光寺のスロープ



私の「旅の空から」は今回で終了となりますが、これから旅に出ようという人は、是非、怖がらないでお出かけください。

困った時に人に助けを求めるのは、決して恥ずかしいことはありません。私でも、旅先で困ったときには周りの人をお願いしてきました。



“旅行に行きたいけど、気軽に相談できるところがみつからない”という人のために、私の個人メールアドレスをお知らせいたします。

すぐにお返事できないかもしれませんが、お気軽にご相談いただければと思います。

それでは皆様お元気で。

HAVE A NICE TRIP !



松本メールアドレス：
yasumori-m@hi3.enjoy.ne.jp

松本 泰守（まつもと やすみり）



旅サポート事業推進室

みなさん、こんにちは！
春になり、外出する機会が増えたと思います。

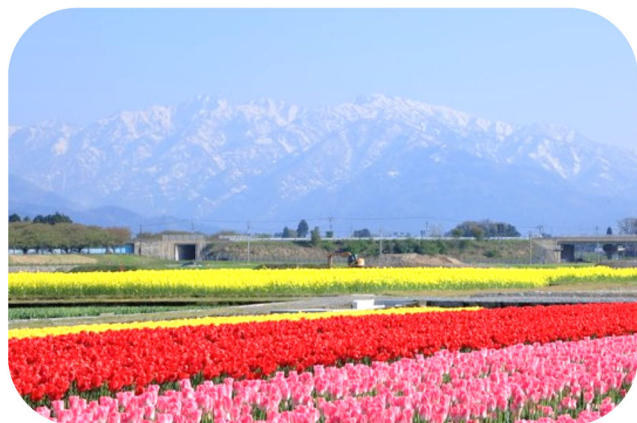
でも、気温差があり、体調を崩しやすい時期でもあります。外出の際は、衣服で調整しながら過ごすように心がけましょう。

桜が終われば次に見頃の花は？

3月は、例年より気温が高く推移しました。桜のシーズンが終わり、次に見ごろになる花といえば？

私は、チューリップを思い浮かべます。チューリップ球根の生産地は、富山県が有名ですが、新潟県も有名で、両県で全国のほとんどのチューリップ球根が生産されています。

富山県砺波市では、例年4月下旬から5月上旬にかけて、『チューリップフェア』が開催されます。また、残雪の北アルプスを背景に、チューリップ畑の撮影は人気があります。



写真提供：砺波市



特別企画宿泊プラン

グリーン車で行くお値打ち旅

金沢1泊2日



名古屋から、しらさぎ号で約3時間の金沢。兼六園・ひがし茶屋街・近江町市場など、魅力的な観光地がいっぱいあります。

【宿泊料金】 平日（2名様1室利用）

ホテル日航金沢+ホテルブレイクファースト+JR券（名古屋金沢往復グリーン車）がセットになって…

1泊朝食付：お一人様あたり 27,700円(税込)～

■チェックイン/15:00 チェックアウト/12:00

☆ 休前日、休日料金等は、お問い合わせください。

※ モデルプランについて ※

まずはお気軽にお問い合わせください♪

- ◎宿泊プランのご相談も、承っております
- ◎モデルコース以外にも、オーダーメイドで、旅行プランのご相談も可能です
- ◎ご希望により、バスや電車の切符、介護タクシー、ヘルパー資格を持った旅サポーターの手配、ご自宅や最寄り駅等、出発場所の指定も可能です
- ◎バリアフリーに配慮した行程で、車いすの方、ご家族、ご友人など、1名様からご相談をお受けいたします

名鉄観光サービス株式会社

旅サポート事業推進室

TEL (052)221-9777

e-mail: tabisupport@mwt.co.jp

(受付時間: 9:30～17:30 土・日・祝日は休業)

〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目10番19号

名古屋商工会議所ビル8F(名古屋教育旅行支店内)

観光庁長官登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員

こちらからも何う旅行会社「トラベルパレット」

＊ ＊ 『福祉情報誌』最終に寄せて ＊ ＊

いつもお世話になります。名古屋の旅行会社「トラベルパレット」でございます。隔月『福祉情報誌』発行に際し、トラベル情報を都度、大変さやかではございましたが、お届けをしてまいりました。

“いつからだろうか？”と、メールのやりとりを辿ったところ、**2008 年**からお世話になっていたようでございます。実に、14 年もの歳月でございます。弊社・起業 16 年目ですので、ほぼほぼ起業当時の長いお付き合いでございました。原稿ご担当者様には、本当にきめ細かく、いつもご相談をいただき、誠にありがとうございます。

突然の終刊のお知らせ！大変残念ではございますが、これからも Web や SNS ツール等々、何らかの形で、お知らせ・情報をお届けができれば、非常に嬉しく感じるとともに、これまでのたくさんの方のやりとり・お心づかいに、心からの感謝と御礼を申し上げます。

読みにくい文章ばかりでしたが、お立寄りくださった皆さまに心からの感謝を申し上げるとともに、これからも是非！“思い立ったら吉日”思いを叶えていただきたく、何かお役に立てますことがありましたら幸いです。

【ゆっくりとアップデート】～ 個人ご旅行～

まずは個人ご旅行から、各国国境が開かれております。5 月以降、国境が開くという予定の国もございます。しばしツアー（構成上、特に添乗員付き・大人数）は難しく、従来の個人ご旅行を楽しんでくださったお客様から、徐々にまたご計画傾向です。

弊社では、**3 年越しのスイス・ニュージーランド・アイスランド・イタリア・カナダなど**、該当のお客様に、都度、状況のご案内をさせていただいております。現状、ワクチンパスポートは必須、または強力ツール様相です。ご帰国時の制限も、少しずつ緩和されてまいりました。

（※ 随時、該当情報のご確認が必要）

【今だからこそ、の国内へ】

従来は、お友達と 2・3 名 1 室でいらしたのが、現状では、宿泊は 1 名 1 室でのご計画が好評です。

3 月、五島列島にご一緒させていただきました。

“島旅”一度ハマると やみつきに？！心を穏やかに解き放つ♪そんなスタイルがお勧めです。



海外には、もう少しお時間がかかりそうな今ならでは！ちょっと遠方の国内・自然・シングルユースで、ご計画されるのはいかがでしょうか。

◇◇ お問い合わせを、お待ちしております！！ ◇◇



■問合せ■

「トラベルパレット」〔担当〕桜井憲子

TEL : 052 (753) 7545 FAX : 052 (308) 3802

Email : sakurai@t-palette.jp

(株)日本旅行提携店

愛知県知事登録旅行業 第3-1214号

ホームページ <http://www.t-palette.jp>

トラベルパレット便り <http://blog2.t-palette.jp/>

テレワーク、以下にて よろしくお願いたします（状況により変動ございます。）お電話：月・水・金のみ／メール、fax：随時確認しております。

ご来店：原則 月・水・金のみ「事前お知らせの方のみ」

**お時間帯：（月）・（水）10：30～16：30
（金）10：30～13：00
（再度変更したままでございます）**

不要不急のご来店は、あらためてお願いいたします。（不在の場合がございます。ご予約優先にて承ります。当日でもご連絡いただくと幸いです。）

※・°・★。・※・°・☆♪※・°・★。・※・

Instagram

https://instagram.com/travel_palette?utm_source=ig_profile_share&igshid=149r4e3iikqac

福祉用具のリサイクル情報 (22/3/29 現在)

欲しいもの、不要なものはありませんか？
リサイクルの輪を広げよう！

なごや福祉用具プラザで、福祉用具のリサイクル品の
コーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！ *金額のないものは無料です。

★移動用品

- ・段差解消機
(UD-310 イウラ) 不明
- ・介助式車いす (不明) 不明
- ・4点杖 (トクイ S 田辺プラス) 展示品

★入浴用品

- ・シャワーチェア
(肘掛け付き アロン化成) 3年使用
- ・入浴グリップ
(ユクリア UB 専用 パナソニック) 1か月使用

★その他

- ・クッションマット
(マルチマットムニュー エー・エム・プロダクツ) ¥5,000 未使用
- ・転落防止帯セット 数回使用
- ・お風呂用スノコ (51×112 cmが2枚) 1ヶ月使用

★洗浄消毒、点検整備済中古車いす・歩行車★

- ・自走式車いす
(NEXT-11B 松永製作所) ¥39,800
(ふわりす KF22-40SB カワムラサイクル) ¥39,800
- ・介助式車いす
(スキット 1000 ミキ) ¥59,800
(ふわりす KF16-40SB カワムラサイクル) ¥39,800

※なお、各種中古商品の販売も行なっておりますので、
ご要望等ございましたら、お問い合わせ下さい。

譲って欲しい！

★ベッド、床周り品

- ・3モーターベッド
- ・体圧分散マット
- ・ロホマット
- ・キャスター付きベッド
- ・エアマット

★移動用品

- ・手動車いす
- ・介助用車いす
- ・子供用車いす
- ・6輪車いす
- ・床走行式リフト
- ・段差解消機 (屋外用)
- ・シルバーカー
- ・スロープ
- ・座幅 45 cmの車いす
- ・リクライニング車いす
- ・バギー
- ・JWX-1 のバッテリー
- ・介護リフト用シート
- ・歩行車
- ・4点杖

★入浴用品

- ・入浴用車いす
- ・入浴用チェア
- ・入浴用リフト
- ・安楽キャリーBタイプ
- ・浴槽台
- ・すべり止めマット

★その他

- ・車いす用座位保持ベルト
- ・座位保持用クッション
- ・紙おむつ
- ・たちあっぷ

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、
ぜひご連絡下さい。

＜福祉用具についての問い合わせ＞

なごや福祉用具普及協議会代表事業者

(株)メディケア リサイクル相談事業部

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

【休業日】月曜日、祝休日、年末年始

(月曜日が祝休日の場合、火曜日も休み)

いろいろ情報

聴覚障害者でも 110 番と 119 番が呼べるアプリの紹介

【Net119 緊急通報システム】

最近、僕（まーくん）は、部屋の中で転んで立ち上がれなくて、ヘルパー事業所に連絡した事が何度かありました。事業所から「119 番にかけて呼んでみたら？」という提案を出されました。しかし、僕は聴覚障害があり、電話での連絡ができないので、どうしたものかと思いました。

すると、聴覚障害に理解がある別の事業所が、「Net119 システムというものがありますよ」と、教えてくれました。「Net119 緊急通報システム」



とは、音声による 119 番通報が困難な聴覚・言語機能障害者が円滑に消防への通報を行えるようにするシステムです。

スマートフォンなどから通報用 Web サイトにアクセスして、消防本部が消防隊や救急隊をどこに出動させるべきかを判断するために必要な「救急」「火事」の別と、通報者の位置情報を入力すれば、即座に消防本部に通報が繋がります。その後、テキストチャットで詳細を確認する仕組みとなっています。システムを使うためには、まず、「事前登録」が必要です。そこで…

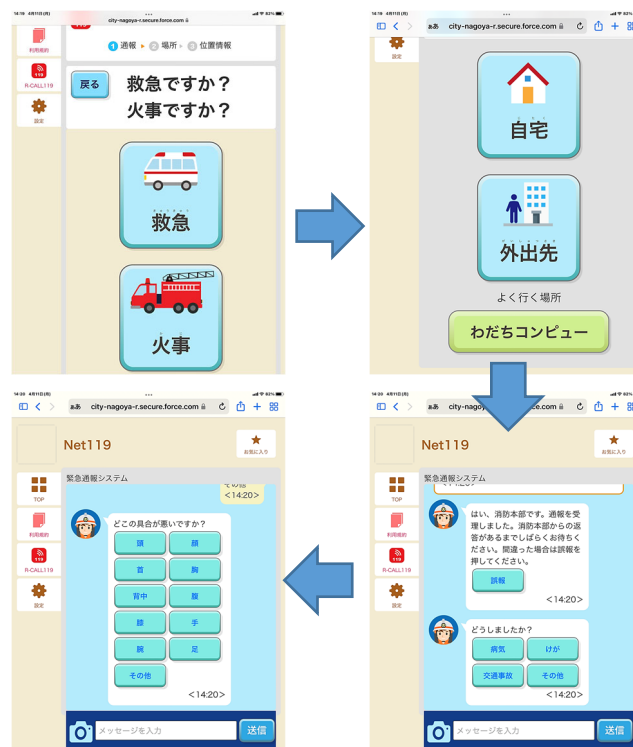
実際に登録してみました！！

申請には、「電子 WEB 申請」と、書類提出による「申請書（用紙）申請」があります。今回は、「電子 WEB 申請」をやってみました。

- ① 「Net119 緊急通報システム」ホームページにて、今住んでいるところが対応しているかどうかを調べて、確認をする。
- ② 対応していれば、「市町村 Net119 緊急通報システム」で検索してみる。
- ③ 該当する市町村サイトに、登録用の QR コード



- (WEB サイト 2 次元コード)のページがある。スマホかタブレットで、QR コードを読み取る。
- ④ 「アカウント作成画面」が表示されるので、画面の指示に従い、アカウント作成を行う。
 - ※ アカウント作成時には、本人含め、各連絡先（家族・勤務先・ヘルパー事業所など）の情報をできるだけ用意してから進めるよいです。
 - ⑤ 消防署でシステム登録が完了したら、「登録完了メール」が送信される。
 - ※ 1 週間以上が経過してもメールが届かない場合は、所定のところにメールにて連絡。
 - ⑥ 登録完了メールに記載された URL から、システム初期画面を開き、ショートカットアイコンを作成する。
 - ※ 登録が完了したら、メール連絡をしたほうがいいと思います。実際に最寄りの消防署の担当から連絡がありました。
 - ※ 利用の流れ：システム内に「練習用ページ」があります。それ以降は画面に従って進めてください。



利用資格：聴覚又は音声・言語機能等に障害があり、音声による 119 番通報が困難な方。

(身障手帳等の有無は問わない)

利用可能 OS：Android / i OS

その他の条件：インターネット及び E メールが利用可能であること、GPS 通知が許可されていること。

利用料金：無料（ただし、端末の取得、利用にかかる料金、通信料等は利用者負担）

問い合わせ：

- ・緊急連絡システムについて…
- ・総務省消防庁ホームページより
- ・アプリについて…



(株)ドーンホームページ内にある製品ページより

※総務省消防庁ホームページより引用

【110番アプリシステム】

「110番アプリシステム」は、聴覚や言語に障害のある方など、電話による110番通報が難しい方が、スマートフォンなどを利用して、文字や画像で警察へ通報できるシステムです。

こちらのシステムも、事前登録が必要です。

僕は、まだ試しておらず未体験です。

- ・スマートフォンに専用のアプリケーションプログラムをダウンロードし、氏名、電話番号、パスワード等を登録することで、利用できる。
- ・スマートフォンの画面操作によって、文字を用いたチャット方式による110番通報ができる。
- ・国内のどこからでも、通報場所を管轄する警察本部に通報できる。
- ・スマートフォンのGPS機能を利用し、通報場所の位置情報を通知できる。
- ・写真の撮影・送付ができる。

<スマホ>

- ・iPhone は「AppleStore」、Android は「GooglePlay」で、「110番アプリ」を検索。

<フィーチャーフォン>

- ・携帯電話から、<https://mobile110.npa.go.jp> に、アクセスする。（※ http 接続も可能。）

使い方：詳細については、警察庁ホームページをご覧ください。右記のような、「使い方（スマートフォン版）（PDF 形式：762KB）」、「使い方（フィーチャーフォン版）（PDF 形式：530KB）」を、ダウンロードし、確認することができます。

注意事項：

- ・音声による110番通報が可能な方は、音声による110番通報をお願いします。
- ・インターネット（ベストエフォート）回線を利用しているため、ネットワークの状態によっては利用できないことがあります。
- ・SMS 及びデータ通信利用可能な回線契約が必要です。なお、SMS 受信した際、設定により着信音が鳴ります。
- ・本システムを利用する際には、周囲の状況をよ

く確認し、危険のより少ない場所に移動するなど、利用者ご自身の安全に十分配慮してください。また、通報中、写真を撮影し、送信することができますが、これら機能を使用するときも、ご自身の安全を優先してください。

- ・写真撮影の際には音（シャッター音）がします。また、設定や状況によりフラッシュが発光します。音や光の発生により、ご自身や第三者に危険がおよぶおそれがある場合には使用しないでください。
- ・本システムを利用して警察に通報したときは、警察側から指示があるまでアプリを終了しないでください。

別添1 「110番アプリ」の使い方（スマホ版）

まずはアプリをダウンロード！

iPhoneの人はAppStoreから、Androidの人はGooglePlayで、「110番アプリ」を検索してください！



別添2 「110番アプリ」ダウンロード手順

iPhoneの人はAppStoreから、Androidの人はGooglePlayで、「110番アプリ」を検索してください！

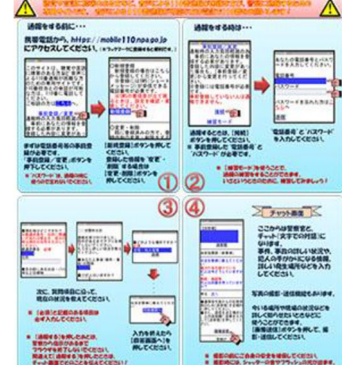
ダウンロード後は、アプリを起動し、登録画面に進みます。



別添3 携帯電話用110番サイトの使い方（フィーチャーフォン版）

まずは携帯電話用110番サイトにアクセスしよう！

ご利用の携帯電話から <https://mobile110.npa.go.jp> にアクセスしてください！



利用資格：聴覚に障害がある方など、音声による110番通報が困難な方

利用可能OS：Android／i OS

利用料金：無料（ただし、アプリのダウンロード・通報時には、それぞれの電話会社との契約に応じた通信料がかかる）

問い合わせ：警視庁



※ 警視庁「110番アプリシステム」ホームページより引用

車いすに乗ったまま「行きたい！」をかなえる



介護タクシー とろろ

でんわ 090-9184-5515

名古屋市千種区新池町2-22-8

tel/fax 052-782-3172

そらいろ工房

一級建築士事務所

「バリアフリー住宅」にこだわる設計事務所です。

車いす利用者の方のより良い住まいと一緒に考えます。

受賞歴

わが家のリフォームコンクール最優秀賞

あたたかな住空間デザインコンペ最優秀賞

ハウスアダプテーションコンクール佳作

愛知まちなみ建築賞



お相
気談
軽は
に無
じ料
うで
ぞす

〒466-0012

名古屋市昭和区小桜町3-11

TEL: 052-741-2907

FAX: 052-741-2760

そらいろ工房 井上義英

トヨタウェルキャブ総合展示場 トヨタハートフルプラザ名古屋

来て、見て、さわって、
体感しよう！

NEW



POINT2

カスタマイズ相談もお受けします

お客様の使い方に合わせた
カスタマイズ（改造）の
ご相談も承っております。



トヨタハートフルプラザは
トヨタの福祉車両
「ウェルキャブ」専門の
総合展示場です。



POINT1

専任スタッフがしっかりサポート

専任スタッフがクルマ選びのお手伝い*をいたします。

*販売につきましてはご希望の販売店をご紹介します。



ウェルキャブ大展示会 開催！

5/10 tue ~ 5/31 tue

5/2 | sat, 22 sun は特別イベントも開催♪

ミニライブ&オート
相談会

手動運転装置、左足アクセル等、
専門メーカーによる相談会を開催致します。

ミニ縁日

ポッチャダーツやお菓子釣りなど
楽しいイベント盛りだくさん♪

休憩スペース



多目的駐車場



多目的トイレ



16台
常時展示



トヨタハートフルプラザ名古屋

●営業時間／10:00~18:00 ●休休日／月曜日・第3火曜日（祝日の場合は翌日）

〒452-0932 愛知県清須市朝日弥生1

TEL: 052-400-8739 FAX: 052-400-8751

詳しくはホームページを
ご覧ください。





Komaki winery

社会福祉法人 AJU 自立の家

障害のある人たちの就労支援の場として、2003 年から多治見修道院にて取り組み始めたワイン事業。2015 年 4 月には、小牧ワイナリーがオープンしました。

多くの仲間が、小牧市内や多治見修道院の畑でぶどうを栽培し、ワインの生産、加工、販売までの仕事に携わっています。

〒485-0806

愛知県小牧市大字野口字大洞 2325 番 2

TEL : 0568-79-3001

FAX : 0568-79-3002

E-mail : komakiwinery@aju-cil.com

営業時間 10:00 から 16:00

定休日 月曜 & 第 2・4 火曜

読者のみなさまへ

皆様のお陰で 30 年続いてきました AJU 福祉情報誌ですが、誠に勝手ながら、今号 176 号（2022 年 4 月 20 日発行）をもちまして、終刊とさせていただきますことになりました。

長らくのご愛読、ご協力、本当にありがとうございました。

つきましては、封筒の宛名に購読料のご入金状況が記されております。2021 年度分までのご入金がお済みでない方は、恐れ入りますが、同封の振込用紙をご利用いただき、下記までご入金のお手続きをお願いいたします。

なお、前受金のある方は別途お知らせをさせていただきます。

年間購読料 1,500 円（隔月発行）

振込先（郵便局にて振込）

加入者名：AJU 福祉情報誌発行委員会

口座番号：00890-0-90573

編集後記

いよいよ最終号となりました。これまでご愛読いただきまして誠にありがとうございました。

当・AJU 福祉情報誌は「障害を持った人の情報誌」として、1992 年 11 月に創刊準備号を発行したのが初めてでした。それと同時に行ったアンケート結果などをもとに、翌 1993 年 2 月のバレンタインプレゼント創刊号を皮切りに、以来 30 年近く 176 号を発行してきました。

誌面作りには、アンケートに協力していただくなど、読者の皆さまの声が欠かせませんでした。誠にありがたく思っております。

紙ベースとしての『AJU 福祉情報誌』は終わらせていただきますが、今後も何らかの形で障害者のための情報を発信していきたいと思っております。またその時はご協力くださるよう、切に願っております。

（AJU 福祉情報誌編集委員一同）



お知らせ

バックナンバー（データ版） 無料公開に向け準備中

現在、バックナンバー（データ版）を無料公開とすべく、準備をしております。

公開が整いましたら、「（社福）AJU 自立の家」ホームページ内にて、お知らせをさせていただきます予定です。今しばらく、お待ちください。

ただし、バックナンバー記事内の情報は、記事執筆時点のものとなりますこと、ご了承ください。



お問い合わせは、こちらまで

TEL : 052-841-9888

FAX : 052-841-3788

E-mail : f-joho@aju-cil.com